

■ 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月下旬
基準日	定時株主総会・期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日
株主名簿管理人	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	電話 0120-78-2031(フリーダイヤル) 取次事務は中央三井信託銀行株式会社の全国各支店ならびに 日本証券代行株式会社の本店および全国各支店で行っております。

●住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別
口座の口座管理機関である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。

●未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。

●「配当金計算書」について

配当金支払いの際送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の
規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その
添付資料としてご使用いただくことができます。
ただし、株式数比例配分方式をご選択いただいている株主様につきましては、
源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行われます。確定申告を行う
際の添付資料につきましては、お取引の証券会社にご確認をお願いします。
なお、配当金領収証にて配当金をお受取りの株主様につきましても、本年
より配当支払いの都度「配当金計算書」を同封させていただいております。
＊確定申告をなされる株主様は、大切に保管ください。



2010年3月期(第59期)
年次報告書
2009年4月1日～2010年3月31日



証券コード:7867



決算ハイライト



ごあいさつ



株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

また平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
当連結会計年度におけるわが国経済は、先行き不透明な景気回復、厳しい雇用・所得環境やデフレ傾向による厳しい経営環境の中、当社グループにおきましては、「メタルファイト ベイブレード」の国内でのヒット、「トランスフォーマー」の映画上映による主に米国市場でのヒットなど、主力の玩具事業において国内外で明るい兆しが窺えました。

また事業構造改革の徹底による不採算グループ会社の黒字化、男児玩具事業のグローバル化や効率経営推進のための組織再編など、より高い収益性を実現する企業体制の構築を進めました。さらに厳しい経営環境を踏まえ、商品力および販売力のさらなる強化、広告宣伝費の効果的な投入をはじめとしたコストマネジメントについても徹底した取り組みを行いました。これにより当連結会計年度において、各グループ会社の収益力回復が大幅に進み、連結業績においてもタカラトミー合併以降最高額の利益を計上することができました。

こうした状況下、2009年度の成功に甘んじることなく、商品企画・生産・マーケティング・販売それぞれの連携を強化し、さらに玩具を核に据えたブランド・コンテンツビジネスへの進化と玩具周辺分野での事業展開を図ってまいります。

また日本・欧州・北米・アジアの4極体制を確立し、グローバル市場対応の商品開発・政策・物流プロセスを徹底させつつ、地域特性に応じた価格戦略、マーケティング体制、戦略的アライアンスの活用を推進してまいります。

さらにグローバル競争を勝ち抜き、中長期視点でのさら

なる海外事業を支えるために財務戦略を強力に推進し、リスクに耐える強固な財務基盤を構築してまいります。

そして、当社グループの企業理念である「すべてのステークホルダーの夢の実現」に向け、「21世紀のおもちゃや」にふさわしい企業風土の醸成を図るとともに、中期的な経営指標である連結売上高営業利益率8%の実現に向けてまい進してまいります。

振り返りますと、私が1986年社長に就任して以来2006年の合併は20年目の決断でした。そこからの新生「タカラトミー」を「飛躍の10年」にしようと決意を固めてスタートしました。しかしながら2008年までの3年間は、真の合併効果を生み出すまでの混沌と混乱の3年であったと思います。2009年からの7年間で改革と成長の年とし、合併後10年目の2015年度には当初の決意の通り「飛躍の10年」として子ども産業の一翼を担う玩具のリーディングカンパニーとなり、業績基盤のさらなる向上と社会との調和、信頼を得る「真のグローバル優良企業」としての評価を皆様からいただけるよう強い覚悟で経営を担ってまいります。

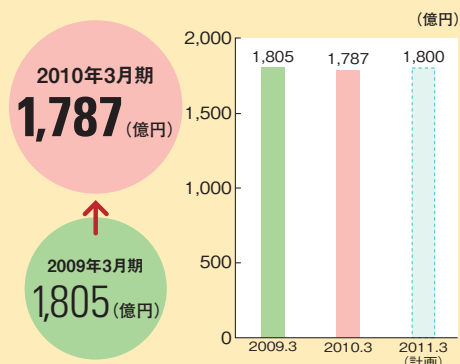
株主の皆様におかれましては、今後ともさらなるご支援とご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



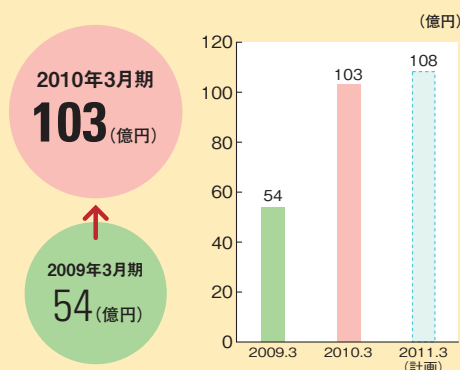
代表取締役社長

富山 幹太郎

売上高



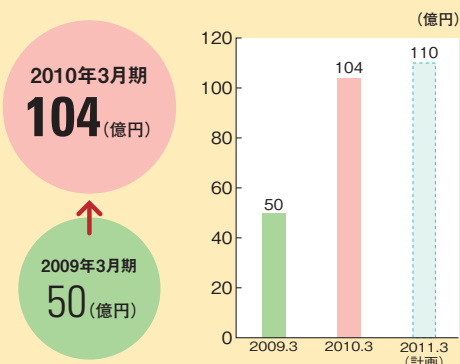
経常利益



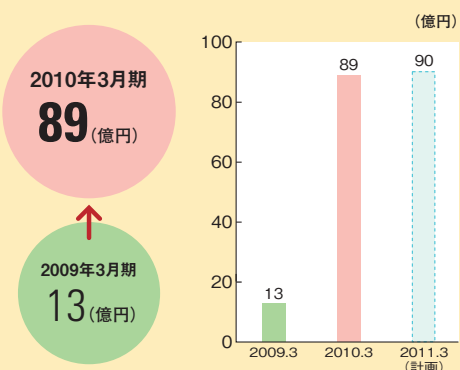
1株当たり配当金



営業利益



当期純利益



自己資本比率





中期経営計画



策定の背景

>>> 2009年度の取り組み

①連結経営の強化

●黒字25社:103億円 赤字4社:△1億円

●赤字会社 前年同期比12社削減

②売上高伸長に頼らずとも、利益を生み出せる経営への変革

●グループ月次報告会開催による業績先行管理の徹底

●コスト削減の着実な実行

③海外展開の強化

欧米 子会社の営業黒字化とトランスフォーマーの大ヒット

中国 日中合作アニメ「三国演義」放送開始

韓国 ベイブレード、デュエル・マスターズのTVアニメ放送、玩具販売開始

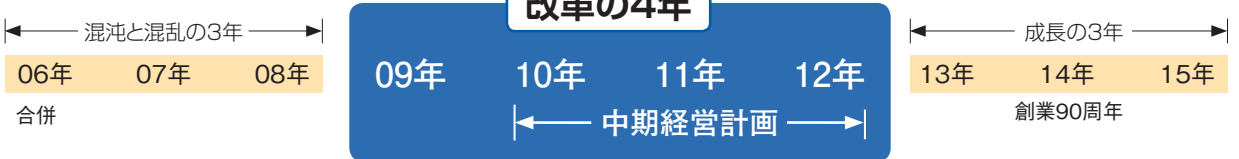
合併以来最高益となる営業利益104億円を達成

>>> 次なる目標

2012年度売上高営業利益率8%の達成 | この目標を達成すべく、2009年度から2012年度を「改革の4年」と位置付け、新たな成長ステージに向けた改革に取り組んでいく。

概要

>>> 位置付け



>>> 骨子

玩具事業の“改革”を継続

1 アジア地域の玩具事業拡大

2 ボーイズ商品のグローバル化

3 定番事業の強化・拡大

財務戦略

自己資本の充実と投資余力の確保

⇒強固な財務基盤の構築

⇒成長資金の確保

⇒財務リスクマネジメント徹底

コスト削減

原価改善／販売費及び一般管理費改善

先行投資

グローバル展開へ体制強化

重点課題別方針

- 1 アジア地域の玩具事業拡大
- 定番商品販売の強化
- 「三国演義」放送拡大によるプレゼンス向上
- 価格改善:機能、商品仕様見直し
- 流通改善:各国流通事情の情報収集・ルート拡大
- 2 ボーイズ商品のグローバル化
- ベイブレード欧米販売
- コンテンツ展開との連動
- ポストベイブレード開発
- 3 定番事業の強化・拡大
- 開発力・ブランド力の強化
- ブランドを強化するためのプレイバリュー商品提案
- 玩具以外へのライセンスアウト



連結財務目標

	売上高 [億円]	(海外比率)	(内、アジア比率)	営業利益 [億円]	営業利益率	当期純利益 [億円]	純資産 [億円]	自己資本 比率	有利子負債 [億円]
2010年度見通し	1,800	(20%)	(5%)	110	6.0%	90	490	50%	200
2012年度目標	1,900	(25%)	(8%)	150	8.0%	95	650	55%	150
増減	+100	(+5%)	(+3%)	+40	+2%	繰損解消	+160	+5%	△50

タカラトミーグループは、玩具事業を生業とすることに誇りと責任をもち、夢を共有することにより未来を拓き、社会と共に成長する玩具業界のリーダー企業を目指します。



経営トピックス



>>>『三国演義』国内展開

最強武将伝 三国演義

© 2008 GAC/TOMY
© 2010 「三国演義」日本語版製作委員会



三国演義 アクションフィギュア



三国演義 名場面コレクション



三国演義 M-figシリーズ

「最強武将伝・三国演義」は、当社と中国中央電視台傘下のアニメ制作会社 北京輝煌動画公司により製作された初の日中共同作品「三国演義」として既に中国全土で放送されております。

そして株式会社ホリプロ・株式会社フォーサムとタッグを組み“ホリプロ50周年記念作品”として日本語版を製作し、4月より株式会社テレビ東京・テレビ大阪系6局ネットにて放送を開始。

スケールの大きな中国の歴史を題材にしていることに加え、鹿賀丈史、船越英一郎、鶴見辰吾、石井正則、戸田菜穂といったホリプロの豪華声優陣を起用したことで話題の作品となっております。

また4月より、日本においてもアクションフィギュアなどの商品を発売。

タカラトミーでは、テレビ放送や商品をきっかけに「三国演義」が広く日本と中国の文化交流の架け橋となるコンテンツへと育っていくことを願い、今後も企画提案を行ってまいります。



2010年3月24日「最強武将伝・三国演義」製作発表会

>>>物流の効率化 新物流センター稼動開始！

当社では新しい物流の拠点として2010年5月より「市川ロジスティクスセンター」の本格稼動を開始しました。「市川ロジスティクスセンター」を物流のプラットフォームとして、高品質・ローコストオペレーション物流を実現し、多様化するお客様ニーズに対応した「買場」を支えるロジスティクスとして、さらに進化し続けてまいります。



事業活動レポート



当期連結業績の概況

- 当社グループでは「中期経営戦略」に基づき、本年度については、
- ①連結経営の強化
- ②売上高伸長に頼らずとも利益を生み出せる経営への変革
- ③海外展開の強化(特にアジア地域)

の3つの重点経営課題に積極的に取り組みました。とりわけ、事業構造改革の徹底による不採算グループ会社の黒字化、男児玩具事業のグローバル化や効率経営推進のための組織再編など、より高い収益性を実現する企業体制の構築を進めました。

この結果、当連結会計年度の連結売上高は、主力の玩具事業

が国内外ともに概ね順調に推移し、178,713百万円(前年同期比1.0%減)と前年並みを計上することができました。また、利益面におきましては、男児玩具事業においてヒット商品を創出することができたとともに、グループ全体での事業ポートフォリオ再構築やコスト・経費削減などにより、営業利益10,456百万円(同108.9%増)、経常利益10,382百万円(同91.0%増)、当期純利益8,978百万円(同551.9%増)となり、連結会計年度の業績としてはタカラトミー合併以降、最高額の利益を計上することができました。

玩具事業

国内市場においては、「メタルファイト ベイブレード」がメディアミックスによる商品展開と積極的な店頭イベントの開催により、男児向け玩具市場を牽引するヒット商品となり、また「デュエル・マスターズ」は、映画公開、テレビアニメ放送、雑誌掲載、全国規模のイベント開催など、全方位での人気拡大を図り、安定した売上高を計上することができました。また、積極的なプロモーション活動と、消費者ニーズにあわせた価格戦略により、トミカ「びゅんびゅんビッグタワーサーキット」やトミカハイパーシリーズ「ハイパーグランナー」が人気を呼びました。プラレールでは、トミカと一緒に遊べる「トミカと遊ぼう!オート踏切ステーション」が、リカちゃんでは、ごっこ遊びの楽しさをさらに広げる「チャイムでピンポン ㊦ ゆったりさん」が、それぞれ堅調に推移いたしました。

玩具周辺事業

連結子会社(株)タカラトミーアーツにおいては、主力のガチャ事業(カプセル玩具)につき「家庭教師ヒットマンREBORN!」や「メタルファイト ベイブレード」などの関連商品でヒット商品を創出するとともに、光をあてて手相を簡単に鑑定できるバラエティ雑貨「テノヒライト」やディズニーのぬいぐるみ商品が人気を博すなど、売上拡大と事業構造改革への取り組みを進め、大きく利益改善を図ることができました。また、幼児/子どもアパレル事業におきましては、厳しい市場環境の中、子ども衣料向け量販店への販売が堅調に推移するとともに、コスト削減の徹底を進め黒字化する

海外市場においては、「トランスフォーマー」が映画上映やDVD発売に伴い高い人気を維持し、米国市場を中心として関連商品の売上が大きく伸長しました。韓国では「メタルファイト ベイブレード」がクリスマス人気商品No.1となり、今年1月からテレビ放映を開始した「トミカヒーロー レスキューファイアー」も関連商品を発売するなど、コンテンツ展開と連動した商品販売を進めました。欧州販売子会社では、アーツ&クラフト商品や新ベビーモニターなどベビー・プリスクール向けが堅調に推移するとともに、コスト削減を進めたことにより、利益面も改善させることができました。

以上の結果、玩具事業における売上高は、113,795百万円(前年同期比0.2%減)、営業利益は14,192百万円(同58.3%増)を計上することができました。

ことができました。さらに、連結子会社トイズユニオン(株)は、任天堂関連商品の取扱量増加により売上高を伸長させました。しかしながら、当社単体でのデジタル事業においては、テレビゲームソフト市場の競争激化によりゲームソフト販売が低調に推移し、またアミューズメント筐体事業の売上高も前年から大きく減少し、利益面でも赤字計上を余儀なくされました。

以上の結果、玩具周辺事業における売上高は、68,042百万円(前年同期比4.3%減)となり、営業損失は533百万円(前年同期営業損失1,281百万円)となりました。



連結財務諸表



連結貸借対照表(要旨)

科 目	当期 (2010年3月31日現在)	前期 (2009年3月31日現在)
【資産の部】		
流動資産	62,132	58,092
現金及び預金	26,929	21,713
受取手形及び売掛金	18,299	18,649
有価証券	264	264
たな卸資産	10,805	11,918
繰延税金資産	3,533	2,334
その他	2,654	3,628
貸倒引当金	△354	△418
固定資産	33,629	33,414
有形固定資産	19,620	19,947
建物及び構築物	5,480	5,733
機械装置及び運搬具	267	293
工具、器具及び備品	1,496	2,178
土地	9,830	10,075
リース資産	1,475	1,407
建設仮勘定	1,070	259
無形固定資産	1,809	1,048
投資その他の資産	12,199	12,418
投資有価証券	4,139	3,495
繰延税金資産	4,634	4,684
その他	3,780	4,581
貸倒引当金	△354	△342
繰延資産	118	92
資産合計	95,880	91,600

(単位:百万円)

科 目	当期 (2010年3月31日現在)	前期 (2009年3月31日現在)
【負債の部】		
流動負債	29,840	37,684
支払手形及び買掛金	10,627	10,022
短期借入金	3,031	13,955
一年以内返済予定長期借入金	2,410	1,167
一年以内償還予定社債	1,850	1,873
未払金	4,956	4,169
未払費用	4,073	3,901
その他	2,890	2,594
固定負債	23,977	23,249
社債	3,290	5,140
新株予約権付社債	12,300	7,000
長期借入金	2,388	4,860
退職給付引当金	2,276	1,934
その他	3,723	4,314
負債合計	53,818	60,934
【純資産の部】		
株主資本	43,309	32,749
資本金	3,459	3,459
資本剰余金	6,823	7,252
利益剰余金	34,344	26,380
自己株式	△1,318	△4,343
評価・換算差額等	△2,555	△3,205
其他有価証券評価差額金	299	△257
繰延ヘッジ損益	43	△138
土地再評価差額金	△6	△131
為替換算調整勘定	△2,892	△2,678
新株予約権	230	111
少数株主持分	1,078	1,010
純資産合計	42,062	30,666
負債純資産合計	95,880	91,600

連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科 目	当期 自 2009年4月 1日 至 2010年3月31日	前期 自 2008年4月 1日 至 2009年3月31日
売上高	178,713	180,586
売上原価	123,718	128,138
売上総利益	54,994	52,447
販売費及び一般管理費	44,538	47,441
営業利益	10,456	5,006
営業外収益	1,044	1,346
営業外費用	1,117	916
経常利益	10,382	5,436
特別利益	190	202
特別損失	1,899	4,560
税金等調整前当期純利益	8,673	1,077
法人税、住民税及び事業税	1,034	890
過年度法人税等戻入額	—	66
法人税等還付税額	—	△30
法人税等調整額	△1,392	△1,190
少数株主利益	53	△35
当期純利益	8,978	1,377

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

科 目	当期 自 2009年4月 1日 至 2010年3月31日	前期 自 2008年4月 1日 至 2009年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	16,857	5,577
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,033	△2,886
財務活動によるキャッシュ・フロー	△8,538	△2,634
現金及び現金同等物に係る換算差額	△120	△420
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	5,165	△363
現金及び現金同等物の期首残高	21,492	21,896
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△18	△40
現金及び現金同等物の期末残高	26,638	21,492

連結株主資本等変動計算書(要旨) (自 2009年4月1日 至 2010年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本					評価・換算 差額等	新株予約権	少数株主 持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計				
2009年3月31日残高	3,459	7,252	26,380	△4,343	32,749	△3,205	111	1,010	30,666
連結会計年度中の変動額									
剰余金の配当			△919		△919				△919
当期純利益			8,978		8,978				8,978
自己株式の取得				△5,834	△5,834				△5,834
自己株式の処分		△429		8,858	8,429				8,429
連結範囲の変動			7		7				7
持分法の適用範囲の変動			21		21				21
土地再評価差額金の取崩			△124		△124				△124
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)						649	118	68	836
連結会計年度中の変動額合計	—	△429	7,963	3,024	10,559	649	118	68	11,396
2010年3月31日残高	3,459	6,823	34,344	△1,318	43,309	△2,555	230	1,078	42,062

「トミカ」誕生40周年

「日本の子どもたちに国産車のミニカーを届けたい」その想いで誕生した「トミカ」は今年40周年を迎えました。手のひらに乗せたときのクルマらしい感覚を大切にしたダイキャスト素材。本物のクルマと同じような、美しい焼付け塗装。開閉するドア。精巧なサスペンション機能。そして、軽く転がすだけでよく走る、優れた走行性能。その完成度の高さ、バリエーションの豊かさで、トミカは時代をこえて愛されてきました。いつの時代も子どもたちに一番近い存在であり続けた日本生まれのトミカは、日本だけでなく世界中の子どもたちに夢を与え続けていくブランドへと成長していくことをこれからの課題として取り組んでまいります。



初めて手にする1台は国産車のミニカーにしてあげたい。
このような想いから1970年に誕生したトミカ。2010年、トミカは誕生40周年を迎えました。



累計販売台数5億3,800万台以上!
誕生した1970年当時、国産車で子どもの手のひらサイズというそれまでにない全く新しいコンセプトで生まれたトミカは、これまでに5億3,800万台以上もお客様に手にしていただきました。「最初の1台に出会ってほしい」そんな想いをこめて、毎月第3土曜日に新車を発売し、常に140台のクルマを取り揃えて子どもたちを待っています。



社会とつながるトミカだから未来へ向けて提案します。
転がすだけでライトが光るエコなトミカ。トミカは未来に向けてこれからも子どもたちのために時代に合わせた楽しさを追求していきます。



でっかい子どもに、育てよう。

トミカの遊びで、想像力を育みます。

トミカの世界で、社会のしくみを学べます。

トミカを通して、親子の絆を深めます。



トミカ40周年イメージキャラクター“でっかい子ども大使”山口智充さんと、今年新発売の「スーパーオートミカビル」。

トミカビルは1971年から続く人気シリーズで、山口さんは1972年発売の「トミカビルDX」で遊んでいたそうです。

「トミカ」は別売りです。



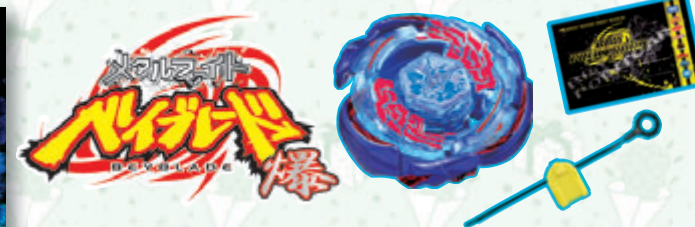
今年のリカちゃんのテーマは“ヘアカラーチェンジ”

手であたためるだけでリカちゃんの髪の色が変わる「ヘアカラーチェンジリカちゃん」。女の子が大好きなヘアアレンジ遊びが楽しめます。



◆海外に向けて積極展開◆

当社は、国内でヒットしたコンテンツについて、世界に向けてグローバル展開を積極展開してまいります。



ベイブレード ギャラクシーペガシスW105R²F

昨年より大ヒットとなった現代版ベゴマ『ベイブレード』は国内だけのヒットにとどまらず、アジア、北米、欧州などにおいてアニメ放映が決定しており、映像コンテンツとあわせてグローバル展開をしてまいります。



2009年、チョロQは完全リニューアル!

昨年30周年を迎えた「チョロQ」は、「チョロQハイブリッド!」として大きく生まれ変わりました。従来のゼンマイ走行はもちろん、ボディを乗せ替えることで、赤外線での操作も可能になりました。2010年はさらに、赤外線に対戦できる新型シャーシを「マリオカートWii」をモチーフにして発売予定です。 ©2008 Nintendo



7月発売 デカプラレールタウン D51レールステーション

でっかいD51蒸気機関車から、6.5本分のレールがとびだし、駅に変形します。サウンド機能も満載で、手転がし遊びや、レイアウト遊びなど、いろいろな遊びが楽しめるセットです。

トランスフォーマー アニメイテッド

日本で誕生した変形合体ロボット『トランスフォーマー』は昨年、第2弾として全世界でハリウッド版映画が公開され、世界各地でトランスフォーマーの人気のますます高まっています。日本においても4月よりテレビアニメが放送開始となるなど、子どもから大人まで、さらにはコアファンまで楽しめる商品を多数発売中です。



デュエル・レジェンド

日本で2002年の発売以来、ロングセラー商品として人気を博しているデュエル・マスターズは昨年より韓国でテレビ放映開始とともに、デュエル・レジェンドとして発売を開始しました。

TM & © Wizards of the Coast/Shogakukan/Mitsui-Kids



業界初!宝石がもらえるアミューズメントマシン!

キラキラのプリズムストーンには様々な情報が凝縮され、女の子のコレクション欲を高めます。ゲームだけではなく、周辺商品と組み合わせればアクセサリに大変身!身に付けたり、デコしたりプリズムストーンの付加価値を高め、遊びの幅が広がります。



プリズムストーンでオシャレなコーディネートが楽しめる!

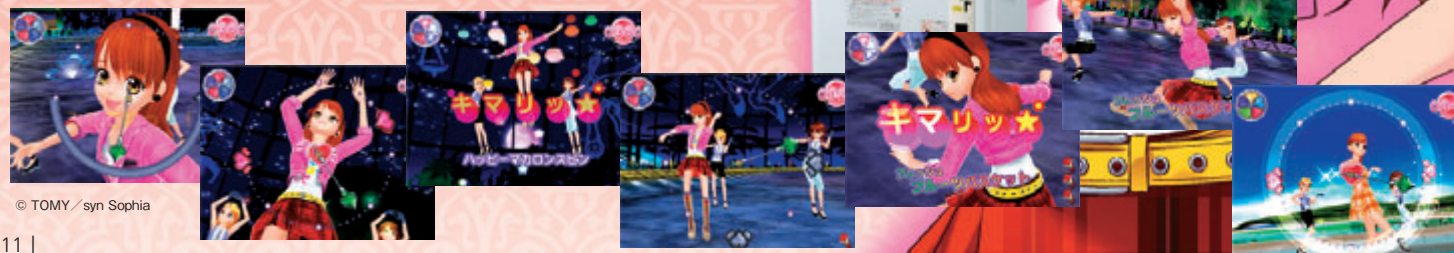
宝石(プリズムストーン)を5つ選んでゲーム機に置くだけで自分だけのオリジナルコーディネートがゲーム画面に登場します。ルーレットを回せば、ゲーム画面の女の子もかわいくターンするからオシャレチェックも完璧!オシャレ大好きな女の子が夢中になる流行の洋服をシーズンに合わせて用意しています。



組み合わせは約**28万**通り!

爽快感あふれるスケート&リズムゲーム!

今大人気のフィギュアスケートとストリートダンスが融合!ヒップホップやテクノポップなど流行のサウンドで高揚感のあるリズムゲームを表現しました。特にジャンプはゲームならではの派手なアクションとエフェクトで超スゴ技を演出!連続でジャンプを決める達成感に女の子は夢中になります!



© TOMY / syn Sophia



プリティリズムコレクション
シーズン1は
84種類!

各色の宝石の裏には
テーマに合わせた
ファッションアイテムを表示!



おもちゃかわらばん



今年の夏は、
タカラトミー関連映画が
続々公開!



劇場版メタルファイト
ベイブレードVS太陽
灼熱の侵略者ソルブレイズ
8月21日公開

大人気のベイブレードががいよいよ映画になって登場!ベイブレードと併せて、デュエル・マスターズも同時上映と夏休みならではの盛り上がりを見せます!

© 2010 足立たかふみ・劇場版メタルファイト ベイブレード製作委員会
© TEAM DUELMASTERS



トイ・ストーリー3 7月10日公開 © Disney/Pixar

ディズニー／ピクサーの集大成にして最高傑作、誕生!子どもはいつか成長し、おもちゃを手放す日がやってくる。カウボーイ人形のウッディと仲間たちも、大好きなご主人様との別れが近づいていた。安住の地を失った彼らを待ちうける、予想もできないく運命>とは…?



ポケットモンスター
幻影の覇者ゾロアーク
7月10日公開

13作品目となるポケットモンスターの映画。新ポケモン「ゾロア」・「ゾロアーク」が登場!劇中で大活躍!!

© Nintendo・Creatures・GAME FREAK
・TV Tokyo・ShoPro・JR Kikaku
© Pokémon
© 2010 ビカチュウプロジェクト



みつばちハッチ
7月31日公開

今から40年前、生き別れになった母を探し、旅を続ける一匹のみつばちの姿が、日本中の涙をさそいました。出会いと別れを繰り返し、厳しく残酷な自然界を懸命に生きたそのみつばちの名はハッチ。あのハッチが生まれ変わって帰ってきます。

© 2010 タツノコプロ／映画「みつばちハッチ」製作委員会



株式の状況／株主優待

(2010年3月31日現在)

株式の状況

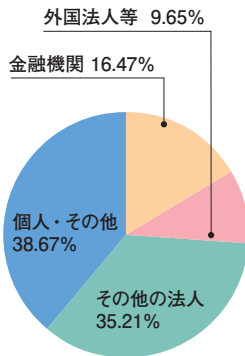
発行可能株式総数	384,000,000株
発行済株式の総数	96,290,850株
単元株式数	100株
株主数	71,059名

大株主

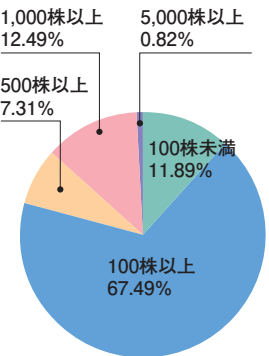
株主名	持株数(株)	出資比率(%)
丸の内キャピタル第一号投資事業有限責任組合	14,443,700	15.34
株式会社インデックス・ホールディングス	7,507,996	7.97
富山幹太郎	4,799,666	5.09
有限会社トミーインシュアランス	4,619,952	4.90
ティーピージー リッチモント ワン エル ビー	4,450,100	4.72
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	4,358,200	4.62
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	3,142,900	3.33
富山章江	1,483,101	1.57
司不動産合資会社	945,360	1.00
塚谷佳代子	912,833	0.97

(注) 出資比率は自己株式(2,150,281株)を控除して計算しております。

所有者別株式数比率



所有株式数別株主数比率



株主優待

当社は、下記のとおり株主優待を実施いたします。

① 対象

2010年3月31日現在の当社株主名簿に基づき、100株以上保有の株主様に株主優待品を贈呈いたします。

② 優待内容

保有株式数 100株以上1,000株未満の株主様

- 1970年トミカ第一作目「ブルーバードSSSクーペ」復刻版トミカ
- 2010年夏発売の最新トミカ「日産 フェアレディZ ロードスター」



保有株式数 1,000株以上の株主様

- 1970年トミカ第一作目「ブルーバードSSSクーペ」復刻版トミカ
- 2010年夏発売の最新トミカ「日産 フェアレディZ ロードスター」
- オリジナルリカちゃん2010(トミカ40周年つなぎ服version)



③ 発送時期

2010年8月下旬を予定しております。

© TOMY



会社概要

(2010年3月31日現在)

会社概要

商号	株式会社タカラトミー
本社所在地	〒124-8511 東京都葛飾区立石7-9-10
設立	1953年1月17日
資本金	3,459百万円
主な事業内容	玩具・雑貨・カードゲーム・家庭用ゲームソフト・乳幼児関連商品等の企画、製造および販売

従業員数

取引銀行

役員

(2010年6月23日現在)

代表取締役社長	富山 幹太郎
取締役副社長	佐藤 慶太
取締役副社長	奥秋 四良
常務取締役	三浦 俊樹
取締役	高橋 勇
取締役	眞下 修
取締役	柳澤 茂樹
取締役(社外)	津坂 純
取締役(社外)	石田 昭夫
取締役(社外)	宮城 覚映
取締役(社外)	矢坂 修
取締役(社外)	小島 一洋
常勤監査役	野沢 武一
監査役(社外)	梅田 常和
監査役(社外)	野上 順
監査役(社外)	水戸 重之
監査役(社外)	吉成 外史

主要グループ会社

◆国内

株式会社タカラトミーアーツ	カプセル玩具等トレンドグッズ、小物玩具、雑貨、季節商材、ぬいぐるみ、玩具菓子の企画・製造・販売
株式会社ティンカーベル	キッズアパレルの企画・製造・販売
和興株式会社	ベビーアパレルの企画・製造・販売
株式会社トミーテック	鉄道模型等の企画・製造・販売
株式会社竜の子プロダクション	アニメーション企画制作等
株式会社タカラトミーエンタメディア	コンテンツ企画・制作、通信コンテンツ企画・配信、コマース・ライツ事業、広告・メディア事業
トミー興産株式会社	書籍・DVD・和洋菓子の販売
株式会社タカラトミー販売	流通・販売戦略の立案・実行および事業活動の管理
株式会社ユーエース	玩具等の卸販売
トイズユニオン株式会社	TVゲーム関連商材・玩具等の卸販売
株式会社キデイランド	玩具・雑貨・書籍等の小売
株式会社タカラトミーエンジニアリング	玩具等の開発技術支援
株式会社タカラトミーロジスティクス	ロジスティクスの企画・管理・運営
株式会社タカラトミービジネスサービス	顧客管理業務、顧客対応業務、アフターサービス、労務・経理関係業務受託、システム事業の企画・開発・運営等

◆海外

欧州	TOMY UK LTD.	玩具等の販売
	TOMY FRANCE S.A.R.L.	玩具等の販売
北米	TOMY CORPORATION	玩具等の販売
	TOMY (SHANGHAI) LTD.	玩具等の販売
	TOMY (HONG KONG) LTD.	玩具等の製造・販売
アジア	TOMY (SHENZHEN) LTD.	玩具等の製造・販売
	TOMY (THAILAND) LTD.	玩具等の製造
	T-ARTS KOREA CO., LTD.	カプセル玩具等の販売